

日本リアルオプション学会 公開セミナー 『再生エネルギーを軸とする地域成長戦略』

日時： 2013年11月8日（金曜日） 14時から16時半

場所： 早稲田大学大学院、早稲田大学 日本橋キャンパス ファイナンス研究科

東京都中央区日本橋 1-4-1 コレド日本橋 5F 地下鉄東西線、銀座線下車1分

アクセスについては、[此处](#)をごらんください。

わが国の将来は、エネルギーにかかわる諸課題をどう克服するかにかかっています。とわけバイオマスエネルギーの利用とシェール革命の同は、大震災後の今後の日本経済に大きな影響をあたえるものになるかとおもいます。日本経済再生のあたり、どのような方向、機会があるか、金融の世界に携わるものがどのような貢献ができるのかなど、さまざまな問題に関連をさせてご講演をいただきます。

講演 1 再生エネルギーを軸とする地域成長戦略『八策』～提言&その実現に向けた地域ビジョン～

田邊 敏憲 氏（埼玉大学大学院経済科学研究科 客員教授）

東日本大震災を契機に、再生エネルギーの重要性が抜本的に見直されている。折しも、温帯モンスーン地帯としてわが国の恵まれた太陽光・水ゆえの豊富な自然資源・バイオマスを活かせる、高効率ガス化・オイル化技術が登場しており、初期投資額が大きいバイオマスエネルギー事業も10年以内に十分減価償却できる高い「事業採算性」が期待できるようになってきている。日本は豊かな自然資源と高度な技術により、持続可能なバイオマスガス・オイル革命を実現し、むしろ世界をリードするような立場を目指せるのではないか。

講演 2 シェール革命と日本経済

中島 厚志 氏（独立行政法人経済産業研究所 理事長）

米国発のシェール革命は、世界のエネルギー事情のみならず世界経済までも構造的に変化させようとしており、日本もこの新たな潮流に乗り遅れることは許されない。シェール革命がもたらしつつある米国経済と世界経済の変化を見た上で、エネルギー制約下にある日本経済の現状と今後の対応方向について考えていく。

主催 日本リアルオプション学会

協賛 早稲田大学ファイナンス研究センター 日本感性工学会

参加費 1,000 円（資料代。参加申込時に事前振り込み、必要な場合には領収書を当日発行いたします）大会参加をお申し込み済の方は、重ねてのセミナーお手配は御無用です。

定員 40 名 当セミナーは JAROS2013 研究発表大会の一部のため、セミナーのみの参加受付を【40名満了】とさせていただきます。

お申し込み [此处 http://realopn.jp/](http://realopn.jp/)にある大会の参加申し込みフォーム からご登録をお願いいたします。参加費のところで『セミナーのみ参加 1,000 円』を選択してください。11月5日(火)までに、ご登録&お振り込みをお願いいたします。